

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

高度慢性高血糖症例の長期血糖コントロール経過と予後に関する検討

2. 研究の対象患者

2010年から2017年までに当院でHbA1cが複数回測定され、転帰を追跡可能な患者さん

3. 研究の対象期間

2010年1月1日～2017年12月31日

4. 研究の概要

糖尿病は慢性高血糖による種々の合併症を発症し、それらの進展はしばしば長期予後やクオリティ・オブ・ライフを阻害する重篤な疾病罹患につながる。日本糖尿病学会「糖尿病の死因に関する委員会」による2001～2010年の調査では、男女とも糖尿病患者の寿命は過去と比べて延伸しているものの、一般日本人の平均寿命と比べいまだ男性で8歳、女性で11歳短命となっている。糖尿病の慢性合併症である細小/大血管障害は、一般的にHbA1c 7%を超える慢性高血糖状態で有意に進展するとされ、同値が合併症進展抑制目的の血糖管理目標閾値となっている。しかし、HbA1c > 10%などより著しい慢性高血糖により、合併症の進展や予後が高血糖のレベルに比例して悪化するか、またその後の介入の程度によりそれらの改善の程度も左右されるか、という知見はまだ十分とは言えない。

本研究では、当院でHbA1cにより血糖管理状況を一定期間把握でき、経過中にHbA1cの著しい高値を呈した患者についてその後の血糖管理状況および転帰を後方視的に追跡し、その予後の特徴や血糖改善による介入効果について検証する。

5. 研究実施予定期間

2018年11月21日～2019年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目

血液学的検査：RBC、Hb、WBC、Neu(%)、Lym(%)

血液生化学的検査：BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca

腫瘍マーカー：CEA、CA19-9、AFP

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：診療局 下濱 祥

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)